



令和5年10月13日

(一財) 3.11 伝承ロード推進機構

「3.11 伝承ロード」・「写真で見る復興10年の歩み」パネル展の開催について

テーマ：「教訓が、いのちを救う。」

東日本大震災から12年が経過しましたが、震災の記憶や経験を忘れずに後世に伝承するため、東日本大震災の実情と教訓等を映像やパネルにより紹介します。

また、被災地の被災前、被災直後、復興10年の状況について写真パネルにより紹介します。

※「3.11 伝承ロード」とは、東日本大震災の教訓を学ぶため、震災伝承施設のネットワークを活用して、防災に関する様々な取組や事業を行う活動です。その活動によって、防災に関する知識や意識を向上させるとともに、多くの人々との交流を促し、災害に強い社会の形成と地域の活性化に繋げるものです。

■期間 令和5年10月20日(金)～令和5年10月30日(月)(※火曜日は休館日になります。)

■時間 9:00～17:00 (10月20日(金)は13:00から、10月30日(月)は12:00)までになります。)

■場所 東日本大震災・原子力災害伝承館 1F エントランスホール
〒979-1401 福島県双葉郡双葉町大字中野字高田39
TEL 0240-23-4402

■内容

(1) パネル展

- ・教訓の伝承の取組
- ・近年の日本における災害発生の状況等(協力：東北地方整備局)
- ・被災前・被災直後・復興10年の航空写真(福島県いわき市、相馬市、宮城県石巻市、気仙沼市、岩手県陸前高田市等)
(協力：(一社)東北地域づくり協会)

(2) 映像紹介

- ・映像による東日本大震災発災後の建設業界の活動

■主催等 主催 (一財) 3.11 伝承ロード推進機構
協力 東日本大震災・原子力災害伝承館
国土交通省東北地方整備局
(一社) 東北地域づくり協会
《発表記者会 福島県政記者会、東北建設専門紙記者会》

問 合 せ 先

○一般財団法人 3.11 伝承ロード推進機構
宮城県仙台市青葉区本町三丁目2-26
事業部長 佐藤 勝也 TEL 022-393-4261

展示パネルの例

教訓が、いのちを救う。

備えることで救える“いのち”があることを知ってもらう！

学ぶことで助かる“いのち”があることを知ってもらう！

一般財団法人3.11伝承ロード推進機構

3.11 伝承ロードとは



一般財団法人3.11伝承ロード推進機構

災害列島 日本。

世界リスク報告書2016版によれば、世界における日本の自然災害リスクランキングはワースト4位。対応能力ランキングを増えた、総合リスクランキングは17位。



世界リスク報告書2016年版
世界における日本の自然災害のリスク

①自然災害リスクランキング	③総合リスクランキング
ワースト 1位 バスアツ	ワースト 17位 日本
2位 トンガ	18位 ベトナム
3位 フィリピン	20位 ジャマイカ
4位 日本	
5位 コスタリカ	

119位 イタリア (G8各国は全てこれより下)

「くしの歯作戦」、決行。

一刻も早く。

命の道を切り開く、一刻を争う戦いへ。
 「くしの歯作戦」とは、内陸部を南北に貫く東北自動車道と国道4号から、「くしの歯」のように沿岸部に伸びる河本もの国道を、救命・救援ルート確保に向けて切り開く作戦のこと。
 想像を超える巨大津波は、太平洋沿岸の各地に壊滅的な被害をもたらし、がれきや橋の流出で沿岸部の各地を孤立させた。地震発生直後、国土交通省 東北地方整備局の災害対策室には、幹部や職員が昼夜と集結。道路関係事務所や出張所と連絡を取り、被害確認と対策立案を急いだ。そして、直ちに、命の道確保に向けてルートを切り開く「くしの歯作戦」を決行した。

